

## ご寄附の方法(税制上の優遇措置)

東北大学基金ウェブサイトの寄附申込みフォーム内にて、寄附の方法、寄附の目的をご指定ください。  
フォーム内の寄附の目的欄から、「金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金(特定基金)」をご選択ください。

個人の方 クレジットカード・郵便振替・銀行振込をご利用いただけます。



こちらより  
お申込みください。

### ●クレジットカード

東北大学基金ウェブサイトの寄附申込みフォームよりお手続きください。

◆取扱カード ▶ VISA、MasterCard

### ●郵便振替・銀行振込

振込票をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください。振込手数料は本学にて負担いたします。

◆取扱金融機関 ▶ 郵便振替：ゆうちょ銀行 銀行振込：七十七銀行、みずほ銀行

[税制上の優遇措置] 税務署に確定申告をしていただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。

法人・団体の方 お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください。

[税制上の優遇措置] 寄附金額全額を損金に算入することができます。

## 顕彰・特典

ご寄附いただきました方には、感謝の気持ちをこめて下記の顕彰・特典を贈呈いたします。

### 東北大学基金からの顕彰・特典

#### 1 東北大学基金ウェブサイトへの芳名の掲載

東北大学基金ウェブサイト「寄附者芳名帳」等にお名前を掲載いたします。ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。

#### 2 東北大学ロゴマークのオリジナルシールを謹呈

蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

#### 3 賞およびプレートの贈呈

寄附金額に応じて、賞およびプレートを贈呈いたします。

種別	個人	法人・団体
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功 労 賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功 績 賞	10万円以上	100万円以上

#### 4 その他の特典

功績賞以上の賞(栄誉功労賞、特別功労賞、功労賞、特別功績賞、功績賞)を授与された寄附者の方を対象に、以下の特典をご用意しております。

- ・寄附者顕彰銘板への芳名の掲載
- ・「感謝のつどい」へのご招待
- ・東北大学萩友会プレミアム会員として様々な特典を提供

### 金属材料研究所からの顕彰・特典

#### 1 金属材料研究所ウェブサイトへの芳名の掲載

金属材料研究所基金ウェブサイト等にお名前を掲載いたします。ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。

#### 2 本多記念館銘板掲示(法人・団体の方のみ)

100万円以上のご寄附には本多記念館内に設置されている「基金顕彰銘板」にご芳名を掲載いたします。

#### 3 金研夏期講習会に1名無料ご招待

金研夏期講習会とは、企業の研究者・技術者を対象とした金研教員による講義や実習です。10万円以上のご寄附(個人・法人とも)には、特典として金研夏期講習会に1名様を無料でご招待いたします。(振込日から2年以内)

金研 夏期講習会

検索



#### 4 その他の特典

以下の特典をご用意しております。

- ・金研広報誌IMRニュースの送付
- ・学内行事へのご招待
- ・金研オリジナルグッズの送付
- ・その他、様々な特典を提供

お問い合わせは下記までお願いいたします。

### 〈事業全般に関するお問い合わせ先〉

東北大学金属材料研究所 総務課総務係

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

TEL : 022-215-2181 E-mail : imr-som@grp.tohoku.ac.jp

金研 基金

検索



### 〈寄附の方法に関するお問い合わせ先〉

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部社会連携課内)

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

TEL : 022-217-5058・5905 E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp

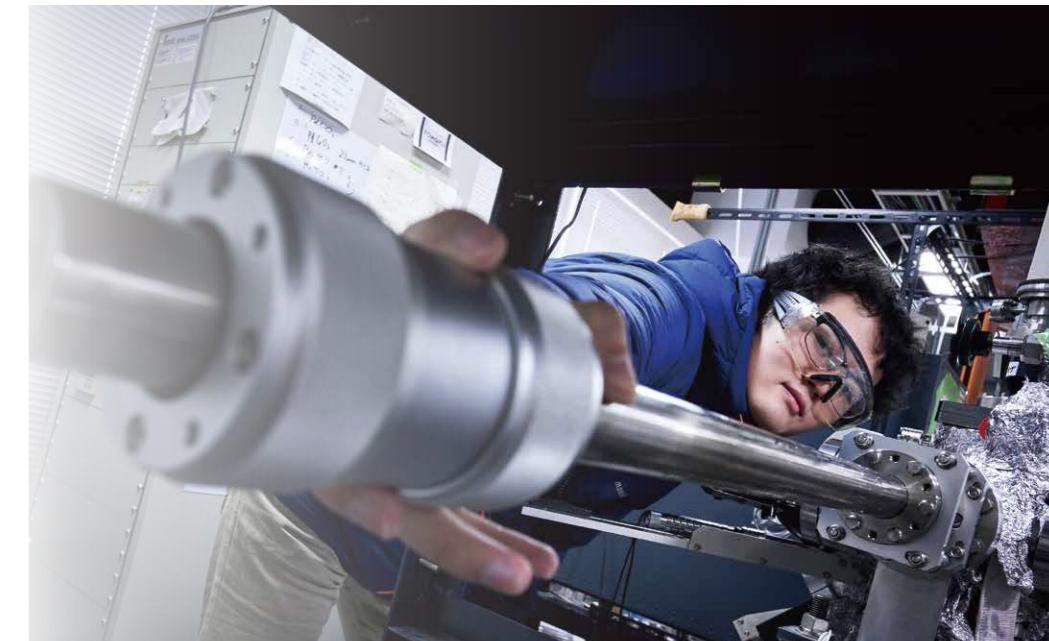
東北大学基金

検索



# 金属材料研究所 材料科学研究教育 助成基金

次世代の材料科学研究を担う  
若手研究者の研究・教育推進のために



東北大学金属材料研究所

# ごあいさつ

次世代の材料科学研究を担う若手研究者の育成と  
新たな材料創出のために

金属材料研究所は、創立当初より材料科学における学理の探求とその応用研究を両輪として、世界最先端の教育・研究に一丸となって取組み、高性能・高品質な材料の開発によって科学技術の向上に寄与してまいりました。

材料研究の多くは、実用化に至るまで数十年の歳月を要します。一方、世界では地球規模の環境・エネルギー問題が喫緊の共通課題として認識され、これら問題を解決する革新的な材料開発への期待が一層高まっています。

パラダイムシフトをもたらす新たな材料の発見には、研究者独自の発想と、国内外問わず様々な分野の研究者・研究機関・企業との協創が必要不可欠です。

本所では、次世代の材料科学研究を担う若手研究者の育成と、真に役立つ新たな材料の創出を通して、わが国の文明の発展と人類の幸福に貢献するという私共の使命を、皆様とともに遂行していきたいと考え、東北大学特定基金「金属材料研究所材料科学研究教育助成基金」を創設いたしました。

本所の研究教育活動に対しまして、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



金属材料研究所  
第22代所長 古原 忠

古原 忠

## 沿革

1916年 本多光太郎博士により臨時理化学研究所第2部として発足  
1919年 附属鉄鋼研究所として東北帝国大学に設置  
1922年 現在の名称である金属材料研究所として附置され現在に至る

## 理念

金属をはじめ、半導体、セラミックス、化合物、有機材料、複合材料などの広範な物質・材料に関する基礎と応用の両面の研究により、真に社会に役立つ新たな材料を創出することによって、文明の発展と人類の幸福に貢献する

## 代表的な研究成果

アモルファス金属、バルク金属ガラス、ナノ結晶合金・準結晶、多元系金属間化合物、マルチスケール組織・構造制御に基づく金属材料、セラミックス、半導体材料、太陽電池用結晶、燃料電池材料、水素吸蔵材料、原子力材料、生体材料、スピントロニクス材料、強相関材料、光デバイス材料、有機材料など



## 基金について

名称	金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金
期間	2018年度より開設。永続的事業として隨時ご寄附を受け付けます。
目的	金属材料研究所で学ぶ学生の就学支援、若手が主導する国際共同研究や社会貢献事業の推進、革新的な材料科学研究で世界をリードする次代の材料科学技術を担う優れた人材の育成

## 基金の用途

皆様からいただいたご寄附は、金属材料研究所の学生・若手研究者の教育支援、環境整備等の事業に活用させていただきます。大口のご寄附で、用途の特定を希望される場合は個別にご相談ください。

### 1 学生の就学支援



最先端の材料科学  
を学ぶ優秀な大学  
院生への経済支援  
を行います

### 2 材料科学研究の国際展開



材料科学に関する  
国際共同研究の  
強化と若手研究者  
の国際交流の促進・  
支援を行います

### 3 社会連携に資する材料科学研究の推進



若手研究者による  
産学連携・社会連  
携事業への支援を  
行います

### 4 独創的研究テーマへの研究支援



独創的な研究アイ  
デアにより挑戦的  
な材料開発を志す  
若手研究者への  
研究費支援を行  
います

### 5 材料科学に関する教育および研究の環境整備



材料科学研究推進  
のための教育研究  
環境の整備に活用  
します

